

原本

三重建資RC四試 3836 号
受付 2020年09月08日
報告 2020年09月15日

三重県四日市市大治田三丁目6番27号

三四興業 株式会社 殿

国土交通省中部地方整備局 認知

〒510-0834

三重県四日市市ときわ1丁目2番40号

TEL (059)354-3706

FAX (059)354-3736

一般社団法人 三重県建設資材試験センター

四日市試験場

承認署名者 主任 中村 尚子



試験報告書

さきに、ご依頼のありました持込試料(骨材)のアルカリシリカ反応性試験の結果を、下記のとおり御報告申し上げます。

1,	試料名	川砂利 (40~25)
2,	依頼者	内部川流域
	産地	
	採取場所	
指定項目	採取日	2020年09月08日
	採取場所	三四興業 株式会社
3,	試験項目	骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)
4,	試験日	2020年09月08日 ~ 2020年09月15日
5,	試験結果	無害 ✓

注) 上記1、2の項目については、依頼書の内容より記入しました。

この写しは原本に相違ありません。

2020年 9月15日

三重県四日市市ときわ1丁目2番40号

一般社団法人 三重県建設資材試験センター 全国生コンクリート工業組合連合会認定試験項目

四日市試験場

承認署名者 主任 中村 尚子



(1/2)



1, 試験結果

試料	繰り返し	アルカリ濃度減少量 Rc (mmol/L)	溶解シリカ量 Sc (mmol/L)	
			吸光光度法	質量法
川砂利 (40~25)	1	88	17	----
	2	89	17	----
	3	89	17	----
	平均値	89	17	----

2, 試験方法

JIS A 1145 : 2017 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)による

備考 ; 吸光光度法で使用した測定機器 日立U-3900形分光光度計

3, 骨材のアルカリシリカ反応性の判定

骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、測定項目における定量値の平均値を用いて行うものとし、次による。

a) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を”無害”と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を”無害でない”と判定する。

b) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の場合、その骨材を”無害”と判定する。

c) アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合は判定しない。

以上

骨材のアルカリシリカ反応性試験

一般社団法人 三重県建設資材試験センター
四日市試験場

試験実施日		2020年09月08日		2020年09月15日		1mol/L-NaOHのフアクター： 1.001		0.05mol/L-HClのフアクター： 0.997		判定						
試験実施者		中村 尚子		中		アルカリ濃度減少量【Rc】 (mmol/L)		溶解シリカ量【Sc】 (mmol/L)		吸光度法						
骨材の名称	繰り返し	試料量 (g)	反応時間 (hr)	V1 (ml)		V2 (ml)		平均値		W (g)	Sc	平均値	吸光度 (mg/L)	A	Sc	平均値
				V1	V2	Rc	Rc	Sc	Sc							
川砂利 (40~25)	1	25	24	20	18.22	88							0.140	2.385	17	無害
	2	25	24	20	18.20	89							0.140	2.385	17	
	3	25	24	20	18.20	89							0.138	2.350	17	
	BLK		24	V3 =	19.99								n =	10		
	1															
	2															
	3															
	BLK												n =			
	1															
	2															
	3															
	BLK												n =			

(注)

$$Rc = \frac{20 \times 0.05 \times F}{V1} \times (V3 - V2) \times 1000$$

Rc = アルカリ濃度減少量 (mmol/L)

F = 0.05mol/L塩酸標準液のフアクター

V1 = JIS A 1145の8.2.1a)で希釈試料溶液からの分取量 (ml)

V2 = 希釈試料溶液の滴定に要した0.05mol/L塩酸標準液の量 (ml)

V3 = 希釈した空試験溶液の滴定に要した0.05mol/L塩酸標準液量 (ml)

吸光度法

$$Sc = 20 \times n \times A \times \frac{1}{28.09}$$

Sc = 溶解シリカ量 (mmol/L)

n = 希釈倍率

A = 検量線から求めたシリカ量 (Si mg/L)

使用した検量線

$$Si = y = 17.511x - 0.0666$$

質量法

$$Sc = 3330 \times W$$

Sc = 溶解シリカ量 (mmol/L)

W = 空試験による補正を行った

試料原液5ml中のシリカの質量 (g)